12月定例会を開催 ―一般質問に15人が登壇―

昨年11月に2回の市議会臨時会を、12月に第4回定例会（12月定例会）を、いずれも市議会議場で開催しました。11月5日に行った第4回臨時会では4つの議案を、11月26日の第5回臨時会では10の議案を、すべて全会一致で可決。12月10日から17日まで開催した第4回定例会では、一般質問に15人が登壇したほか、平成22年度一般会計補正予算（第7号）など全11議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

11月には2回の臨時会 ―

◆11月5日◆

第4回臨時会

全会一致で可決

◎一般廃棄物最終処分場建設工事（埋立地土木工事）の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

標題の建設工事について、3億4396万9500円で、日本国土開発㈱・㈱遠忠特定建設工事共同企業体（代表者＝日本国土開発㈱盛岡営業所・菊池泰所長）と請負契約を締結しようとするものです。

◎一般廃棄物最終処分場建設工事（浸出水処理建設工事）の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

標題の建設工事について、4億1572万6500円で、水道機工㈱・㈱吉田組特定建設工事共同企業体（代表者＝水道機工㈱東北支社・細山仁支社長）と請負契約を締結しようとするものです。

問 工事の中には、立木の処分も入っているのか。

答 入っている。

◎平成22年度八幡平市一般会計補正予算（第5号）

歳入、歳出それぞれ299万9000円を追加するものです（歳出は主に、民生費の老人福祉費・修繕料です）。

◆11月26日◆

第5回臨時会

全会一致で可決

◎八幡平市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

国や県に準じ、職員の給料月額や手当の額などを改正しようとするものです。（併せて、「八幡平市市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」「八幡平市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」なども可決）

◎平成22年度八幡平市一般会計補正予算（第6号）

歳入、歳出それぞれ1651万1000円を減額するものです（歳出は主に職員手当などの減額です）。

◆12月10日～17日◆

第4回定例会

全会一致で可決

◎八幡平市放課後児童クラブ施設条例の一部を改正する条例

田頭小敷地内に完成した田頭学童保育クラブ施設

新たに田頭学童保育クラブ施設を整備したことにより、所在地の住所を改めようとするものです。

◎平成22年度八幡平市一般会計補正予算（第7号）

歳入、歳出それぞれ6億6195万8000円を追加するもので、歳出の主なものは次のとおりです。（1万円未満は切り捨て）

▼公共施設整備基金積立金 7億円

▼自立支援給付費 512万円

▼一般廃棄物最終処分場建設工事費 4123万円

▼松尾地区コミュニティセンター建設工事費 1億3931万円（減額）

問 松尾地区コミュニティセンター建設工事請負費の減額理由は。

答 くい打ち作業で転石が見つかり、工法変更を行うことになり、平成22年度分と23年度分の工事費の割合を変更したためである。

問 託老所建設用地の面積と温泉権の取得理由は。

答 購入面積は4359平方㍍で、購入する土地の中に温泉があることから、温泉の権利も取得するものである。

問 新規訪日中国人誘客促進事業補助金500万円の進捗状況は。

答 1000人を市内に呼び込む事業で、7月1日現在で204人が訪れている。尖閣諸島での中国漁船衝突事件の影響があり、支障が出ている状態である。

問 公共施設整備基金7億円はどういう想定で積み立てしているのか。

答 後期5カ年事業のハード事業に使う予定である。合併特例債は95㌫が国の負担、5㌫が市の負担であり、特例債以外の起債を含めても、一割の一般財源があれば、約70億円のハード事業を実施できる。

問 緊急雇用対策事業の内容について伺う。

答 緊急雇用対策事業は全部で16事業あり、今回補正に計上したのは6事業で、そのうちの一つは、スキーのまち八幡平市の魅力再発見事業に241万円増額し、計1812万円とした。小中学生のスノースポーツの無償レッスン事業を実施する。

安比高原スキー場のレッスンスタッフ

問 住宅リフォーム支援事業助成費が500万円追加になっているが、状況は。

答 11月末現在の申請件数が162件となっており、昨年度の148件を既に上回っている。

問 木造住宅の耐震改修について、国の補正予算で30万円増額されることに決定された。本年度限りの増額であり、住宅リフォームも同時にできると思うが、市の取り組みはどうか。

答 これは、一般住宅の耐震診断結果に基づいて改修事業が行える制度である。リフォームについては、市独自の事業があり、診断、改修事業に合わせて実施することは可能である。耐震の改修は、診断を経て、それから事業実施することになる。

問 市役所の障害者トイレの照明などを改善してほしい。

答 再点検して検討する。

問 今年の山ぶどうの状況は。また、山ぶどうの特産推進をしていただきたい。

答 生産量は106㌧、単価は1㌔当たり200円の見込みである。生産調整を部会役員にお願いしていると聞いている。

問 学童保育施設数、指導員数、学童数はいくらか。

答 市で管理しているのは6施設あり、学童数は大更が62人、大更第2が52人、平笠が21人、東大更が14人、渋川が10人、田頭が35人となっている。指導員は各施設に3人ずつ、計18人配置している。

◎平成22年度八幡平市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）

問 平舘駅前地区の公共下水道工事での舗装工事が終わったが、車が通るたびに振動が大きく、苦情が多くある。

答 現在は仮舗装で、来年8月ごろに本復旧の舗装工事を行う予定となっている。

問 大更駅東側の公共下水道工事を進めるに当たって、後期計画での道路整備や上水道の配水管整備などとの整合性をどう考えているか。

答 今、大更駅周辺のにぎわい創出の取り組みを進めている都市計画との絡みも含め、各課と連携を取りながら進めていきたい。

◎平成22年度八幡平市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）

問 農業集落排水工事で、来年度工事費の確保が難しいと説明があったが、その内容は。

答 国の事業仕分けとの関係で、下水道工事関係予算の先が見えない状況である。このような中で、県から今年度内で1億円ほどの追加工事を提案され、来年度予定していた工事を先取りして実施することにした。

◎松尾地区コミュニティセンター建設工事（建築）の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて

問 当初のくい打ち工事費はいくらで、変更後はいくらになるのか。また、主たる変更の内容は何か。

答 この工事で103カ所にくいを打ち込む計画であったが、地盤に転石層が見つかり、硬質岩盤掘削工法に変更するものである。103カ所のうち54カ所で工法変更が必要となり、61日間の工期延長と請負額1934万2050円の増額となる。くい打ち分の工事費は、諸経費を別にして、当初の直接工事費646万円から、変更後は1560万円になるものである。

第4回定例会の最終日（12月17日）

松尾柔剣道場北側に建設中のコミュニティセンター